



白隠と 仏教の流れ

柳 幹 康

皆さん、こんにちは。花園大学の柳幹康と申します。この度貴重なご縁をいただき、本号より「白隠の言葉を読む」と題し全十二回の連載をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

白隠こと白隠慧鶴（一六八六—一七六九）は皆さんご存じの通り、日本臨済禅中興の祖と称される江戸時代の禅僧です。禅の厳しい修行に専心して悟りの体験を何度も重ね、その経験に基づき人々を広く教化しました。彼の門下からは優れた禅僧が輩出し、やがて日本の臨済宗・黄檗宗の伝法（法の伝承）の系譜は白隠の門流のみによって占められるようになっています。今日両宗の専門道場において実践されている修行方法の原型もまた、白隠によって作られました。つまり白隠こそが今日

の臨濟・黄檗両宗の法脈と実践の直接の淵源となつたわけです。臨濟禅中興の祖と尊称される所以です。(黄檗宗は江戸時代に中国から伝わつた臨濟禅の流れです)

これまで白隠の独自性を語る際には、「隻手の音声」という新たな公案(禅の問題)の創出や、公案の体系化といった実績がしばしば挙げられてきましたが、これは白隠の思想の一部であつて、全体ではありません。仏教全体の流れに鑑みて白隠は、自身の実地の体験をもとに禅の立場から、仏教の全てを(更には思想一般をも)統合する独自の一大実践体系を作り上げたのでした。

今から約二千五百年前に釈尊がインドにおいて、八万四千の法門とも伝えられる無数の教えを説き示して以降、仏教は今日まで多様

化の道を歩んできました。インドでは無数の教えや各種規則の解釈等をめぐつて様々な立場が生まれ、やがて従来の仏教を「小乗」——自己の救済のみを求める小さな乗り物——と批判し、一切衆生を救済する大きな乗り物「大乘」を自任する人々が現われます。更に後には、人々の願いを直接かなえる密教が誕生しました。

インドから各地に伝わつた仏教の流れは大きく分けて、(1)スリランカ・東南アジアに広まつた南伝仏教、(2)チベットを経て中国・モンゴルに広まつた藏伝仏教(チベット仏教)、(3)中央アジアを経て中国・朝鮮・日本など東アジア一带に広まつた北伝仏教の三種となります。それぞれ悠久の歴史の中でパーリ語・チベット語・中国語の一大聖典集を形成し、

南伝では新興の大乗を斥け古来の仏教を選択し、藏伝では小乗・大乘・密教を下層から上層へと配して体系化するなど、各々独自の道を切り拓いてきました（詳しくは碧巖録研究会「永明延寿を／＼から考える」『駒沢大学禅研究所年報』二七、二〇一五をご覧ください）。そして北伝では中国において、我々の心こそが仏であり、この真理を独自に伝えてきたと説く禅宗が新たに登場します。

白隱はこの禅宗の流れを汲みつつ、自身の経験をもとに仏教全体の要点を「見性」と「悟後の修行」の二点にまとめました。「見性」とは仏である己が本性を見て取ること、「悟後の修行」とはそれ以降の実践のことで、二つの側面——(1)己が悟りの境界を不断に練り上げること、(2)八万四千の法門のみならず凡

そ思想の一切を広く学び、それによって衆生を教え導きつづけること——から成ります。つまり白隱は禅宗所伝の仏の心に目覚め、釈尊に成り代わって一切衆生を倦まず救済するという実践の一大体系を構築したのです。

ではこの実践の体系について白隱は、具体的にどのように説いているのでしょうか。またかかる壮大な実践体系の背後に潜む、白隱自身の実地の経験とはどのようなものだったのでしょうか。次回以降、白隱の生涯と言葉について詳しく見てまいります。

柳幹康（やなぎ みきやす）

一九八一年栃木県生まれ。二〇一三年東京大学大学院博士課程修了、博士（文学）。現在花園大学国際禅学研究所副所長・准教授。著書に『永明延寿と『宗鏡録』の研究——一心による中国仏教の再編』（法藏館）。

お願い

花園俳壇・花園歌壇

俳壇・歌壇への投稿は、それぞれ別の官製はがきを使用し、各三句(首)までを読みやすく書いてお送りください。

*ㄆ切りは毎月1日です。

花園へのご意見・感想など

本誌へのご意見・感想など、「編集室花園係」までお送りください。お待ちしております。

送り先

〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町64
妙心寺派宗務本所内編集室
俳壇／歌壇／花園 係

*住所、氏名を必ずお書きください。

*俳壇・歌壇ともに作品は未発表のものに限ります。(他誌投稿作品、転載は不可)

*なお投稿はお返しいたしません。



「いつもココロに花園を」
あなたとわたしのポケットエッセイ集

【花園】第69巻 第4号(通巻第812号)
平成31年4月1日発行(毎月1日発行)
定価55円

【発行人】栗原正雄

【編集人】畠中寿浩

【印刷人】喜田眞司

【発行所】〒616-8035 京都市右京区花園
妙心寺派宗務本所 教化センター
振替／01060-9-1400番
電話／075-463-3121番

表紙の絵

「新しい毎日を生きる」



昨日の失敗にこだわらず、
新しい毎日を生きていこう。

絵・花咲幸絵

月刊『花園』1冊送りの年間購読料は、1,560円(税・送料込)です。
下記のお電話か、ホームページでお申込みください。

【妙心寺派宗務本所 頒布課】電話：075-467-2990

【妙心寺派直売店 web shop】

<http://www.myoshinji-shop.jp/fs/myoshinji/g05-0002>

*乱丁、落丁本はおとりかえいたします。